

小海高等学校生活指導係発行

## 集団のルールと逆境の中での 協力体制



東日本大震災発生直後の今年3月16日にニューヨークタイムズ紙に作家の村上龍氏の寄稿文が掲載されました。「危機的状況の中の希望」と題されたその文章はその誠実な内容から多くの人々が感動したとのことでした。その中には日本人についての特性が述べられています。日本人は危機的状況に陥っても集団のルールを守り、例えば列への割り込みなどもないし、略奪なども起きていません。しかし集団の目の届かないところでは自己中心的になります。福島県以外のところでは福島ナンバーの車に落書きをしたりする者もいるといいます。しかもそこは東京電力の電力供給地域だったりするそうです。このように被災者の気持ちを逆なでするような行為も起こっています。

震災のような状況でなくとも日本人は人の目の届かないところではルールを無視した行動をするようなことはないでしょうか？目立たなかったり、人が見ていなければ平気でゴミを散らかすような行為はその典型的な例です。集団のルールを守る気持ち。相手を思いやる気持ち。見えないところでこそルールを守る気持ち。そういう気持ちを持ってそれを行動に反映したいものですね。

(村上龍氏の寄稿文は英語で書かれていますが、その日本語訳を裏側に載せておきます)

## 「見る」ということは「見られる」ということ

明日は全学年とも総合的な学習の日です。1年生は大学見学。2年生は平和学習。3年生は進路ガイダンス。いずれの諸君も見学をしたり説明を受けたりする1日です。諸君からすると「見る」わけですが、相手の方々も諸君を見ています。身だしなみ・言葉遣い・挨拶をしっかりとしましょう。

## 自転車は自転車置き場にきちんと置く 歩行者は歩道からはみ出さないこと

自転車の置き方について苦情が寄せられています。駅まで自転車を利用している諸君は各駅の駐輪場にきちんと自転車をとめてください。施錠もしっかり行って盗難を防止して下さい。歩行者の諸君は歩道からはみ出さずに通行して下さい。特に道幅の狭いところでは自動車の通行の妨げになるようなことのないようにしてください。